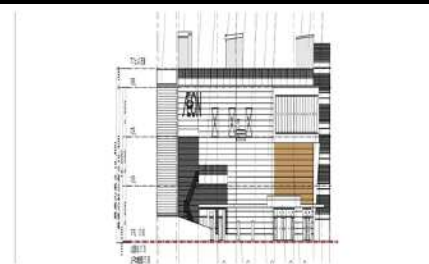


CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版, CASBEE埼玉県2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)イオンタウンふじみ野新築工	階数	地上3F
建設地	埼玉県ふじみ野市福岡二丁目1500	構造	S造
用途地域	都市計画区域内、市街化区域、防	平均居住人員	200 人
地域区分	5地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,飲食店,集会所,等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年5月 予定	評価の実施日	2019年3月1日
敷地面積	50,196 m ²	作成者	西川学
建築面積	19,980 m ²	確認日	2019年3月5日
延床面積	55,917 m ²	確認者	須田敏明



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★☆☆☆☆

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 参考値: 230 (kg-CO₂/年・m²)
 建築物の取組み: 184 (kg-CO₂/年・m²)
 上記+ 以外の: 85%
 上記+: 85%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

音環境	2.2
温熱環境	2.6
光・視環境	3.0
空気質環境	2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

機能性	2.6
耐用性	3.0
対応性	3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

生物環境	2.0
まちなみ	2.0
地域性	2.5

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.7

建物外皮の	2.3
自然エネ	3.0
設備システ	2.8
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

水資源	3.0
非再生材料の	3.0
汚染物質	3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

地球温暖化	3.5
地域環境	2.5
周辺環境	2.7

3 設計上の配慮事項		
総合	耐用年数の高い材料を採用することで、ライフサイクルコストの低減に努めている。また、環境にやさしい材料を採用し、地球環境保護に配慮している。	その他 特になし。
Q1 室内環境	特になし。	Q2 サービス性能 耐用年数が高い内装仕上げ材と給排水配管を使用している。階高は5.2m。空間の自由さが取られている。
Q3 室外環境(敷地内)	特になし。	特になし。
LR1 エネルギー	特になし。	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上げ材が容易に分別可能。
LR3 敷地外環境	特になし。	LR3 敷地外環境 自転車利用、駐車場の確保され、交通負荷を制御している。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS
(仮称)イオンタウンふじみ野新築工事

欄に数値またはコメントを記入

使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版、C
 評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
0 建築物の環境品質									2.6
Q1 室内環境			0.40		-				2.6
1 音環境		2.2	0.15		-				2.2
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40		3.0				
1.2 遮音		1.0	0.40		-				
1 開口部遮音性能		1.0	0.98		3.0				
2 界壁遮音性能		3.0	0.02		3.0				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	0.00		3.0				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	0.00		3.0				
1.3 吸音		3.0	0.20		3.0				
2 温熱環境		2.6	0.35		-				2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50		-				
1 室温		3.0	0.50		3.0				
2 外皮性能		3.0	0.17		3.0				
3 ゾーン別制御性		3.0	0.33		-				
2.2 湿度制御		1.0	0.20		3.0				
2.3 空調方式		3.0	0.30		3.0				
3 光・視環境		3.0	0.25		-				3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.52		-				
1 昼光率		-	-		3.0				
2 方位別開口		-	-		3.0				
3 昼光利用設備		3.0	1.00		3.0				
3.2 グレア対策		-	-		-				
1 昼光制御		-	-		3.0				
3.3 照度		-	-		3.0				
3.4 照明制御		3.0	0.48		3.0				
4 空気質環境		2.8	0.25		-				2.8
4.1 発生源対策		3.0	0.50		-				
1 化学汚染物質		3.0	1.00		3.0				
4.2 換気		3.0	0.30		-				
1 換気量		3.0	0.50		3.0				
2 自然換気性能		-	-		3.0				
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50		3.0				
4.3 運用管理		2.0	0.20		-				
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50		-				
2 喫煙の制御		1.0	0.50		-				
Q2 サービス性能		-	0.30		-				3.0
1 機能性		2.6	0.40		-				2.6
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40		-				
1 広さ・収納性		3.0	0.00		3.0				
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.00		3.0				
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-				
1.2 心理性・快適性		2.3	0.30		-				
1 広さ感・景観	物販、飲食店天井高:3.5m	4.0	0.33		3.0				
2 リフレッシュスペース		2.0	0.31		-				
3 内装計画		1.0	0.36		-				
1.3 維持管理		2.5	0.30		-				
1 維持管理に配慮した設計		2.0	0.50		-				
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-				
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30		-				3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50		-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		-				
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30		-				
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20		-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	耐用年数が高い内装仕上げ材を使用している。	5.0	0.10		-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	耐用年数が高い給排水配管を使用している。	5.0	0.20		-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-				
2.4 信頼性		2.4	0.20		-				
1 空調・換気設備		1.0	0.20		-				
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20		-				
3 電気設備		3.0	0.20		-				
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		-				
5 通信・情報設備		2.0	0.20		-				

3 対応性・更新性			3.6	0.30	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高は5.2m	5.0	0.59	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	空間の自由さが取られている。	5.0	0.41	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	2.9
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	2.7
1 建物外皮の熱負荷抑制			2.3	0.20	-	-	2.3
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.83	2.8	0.50	-	-	2.8
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.60	-	-	3.0
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	再生クラッシャーラン	3.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げ材が容易に分別可能。	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	グラスウールを使用している。	5.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率が、一般的な建物(参照値)に対して	3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	自転車利用、駐車場の確保され、交通負荷を制御している。	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			1.6	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70	-	-	
2	日光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県

重点項目シート






使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)イオンタウンふじみ野新築工事	BEE	0.7	BEEランク
------	--------------------	-----	-----	--------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.5	+	2.0	=	5.5 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.5
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.5
< 配慮した内容を記述 > 耐用年数の高い材料を採用することで、ライフサイクルコストの低減に努めている。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.0
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0
< 配慮した内容を記述 > 自転車利用、駐車場の確保され、交通負荷を制御している。			

: 入力欄